

2027 年度（令和 9 年度）
大学院工学研究科
（博士前期課程）
推薦選抜
学生募集要項

国立大学法人
名古屋工業大学

目 次

2027 年度（令和 9 年度）大学院工学研究科(博士前期課程)

推薦選抜学生募集要項

教育理念

アドミッション・ポリシー	1
1 募集専攻・プログラム及び募集人員	2
2 推薦要件及び出願資格	3
3 出願期間	3
4 出願手続	4
5 受験票のダウンロード及び印刷	7
6 障害等のある入学志願者との事前相談	7
7 入学者選抜方法	8
8 試験場	8
9 受験上の諸注意	8
10 合格者発表及び入学手続	8
11 入学手続時に必要な経費	9
12 プログラム及び指導を希望する教員	9
13 課程の修了の認定及び学位の授与	9
14 奨学金	9
15 安全保障輸出管理について	9
16 問い合わせ先	10
ディプロマ・ポリシー	11
カリキュラム・ポリシー	13
本学への交通案内	裏表紙

教育理念

名古屋工業大学では、『ものづくり』『ひとづくり』『未来づくり』を理念として、将来にわたって人類の幸福や国際社会の福祉を達成する方向を示し、同時にそれに対応できる人材を育成する。」ことを教育理念としています。

本学の卒業生は一人ひとりが国際社会の中で様々な人々・分野と協働し、持続的未來社会への責任を自覚し、実践の中で革新的な学術と技術を創造する能力を有する実践的工学エリートとして活躍することが期待されます。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

大学院博士前期課程

教育理念に従って人材を育成するため次を満たす学生を広く国内外から受け入れています。

大学院博士前期課程で学ぶ学生は学士の能力と工学の基礎知識・使命感をもち、本学の理念をよく理解し、工学の使命を果たす意欲をもつ人です。

- 1 学士課程を卒業又はこれと同等の能力をもつ人
- 2 他者と意見を交わすことのできるコミュニケーション力をもち、英語においては講義や教科書の理解、他者との意見交換をすることのできる能力をもつ人
- 3 志望するプログラムの履修に必要な工学の基礎知識とこれを活用して問題解決をする能力をもつ人
- 4 未来の工学を先導することに強い意欲をもつ人

入学者選抜の基本方針

推薦選抜

大学での成績が優秀であり、出身大学・学部等の長から推薦を得られる者を対象に、提出書類と口述試験の成績を総合して選抜します。口述試験では、プレゼンテーションにより専門分野の基礎知識を測り、併せて研究意欲、適性、人物について面接します。

注：ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーについては、11ページ以降を参照してください。

2027 年度（令和 9 年度）大学院工学研究科（博士前期課程）

推薦選抜学生募集要項

近年の科学技術の高度化・専門化に伴い、産業や学術の分野において活躍できる優れた技術と知識を持った人材の育成が求められています。このような社会的要請に応えるために、本学大学院では創造性・独創性を持つ優秀な学生の大学院への進学を奨励し、かつ、受入を早期決定することにより、卒業研究等の大学院準備教育に専心させることを目的として、推薦入試を実施します。

1 募集専攻・プログラム及び募集人員

募集専攻	系	プログラム	募集人員	受入目安 (注1)
工学 専攻	生命・応用化学系	生命・物質化学プログラム	220 人	29 人程度
		ソフトマテリアルプログラム		15 人程度
		環境セラミックスプログラム		15 人程度
	物理工学系	材料機能プログラム		14 人程度
		応用物理プログラム		14 人程度
	電気・機械工学系	電気電子プログラム		27 人程度
		機械工学プログラム		27 人程度
	情報工学系	ネットワークプログラム		40 人程度
		知能情報プログラム		
		メディア情報プログラム		
		情報数理プログラム		
	社会工学系	建築・デザインプログラム		18 人程度
		環境都市プログラム		12 人程度
		経営システムプログラム		9 人程度
	複合系	未来通信プログラム		若干名 (注2)
		カーボンニュートラルプログラム		
		医学工学プログラム		

注1：各系及びプログラムの受入れの目安は上記のとおりです。

注2：複合系の未来通信プログラム、カーボンニュートラルプログラム及び医学工学プログラムの受入目安は、生命・応用化学系から社会工学系までの受入目安の中に含まれます。

2 推薦要件及び出願資格

(1) 推薦要件

- ・合格した場合は、必ず本学に入学を確約できる者で、成績が優秀かつ大学等の学長、学部長及び学科長等（役職者）から推薦を得られる者で、2027年3月までに学部卒業見込みのもの（学士の学位取得見込み、学校教育における16年の課程修了見込みを含む。）

(2) 出願資格

前項の推薦要件を満たす者で次のいずれかに該当する者

- ① 2027年3月31日までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を2027年3月31日までに取得見込みの者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を2027年3月31日までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を2027年3月31日までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を2027年3月31日までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により学士の学位に相当する学位を2027年3月31日までに取得見込みの者

3 出願期間

(1) インターネット出願登録期間

2026年4月22日(水) 9:00～5月12日(火) 12:00

(2) 出願書類受理期間

2026年5月7日(木)～5月12日(火) 16時必着

注1：インターネット出願情報の登録（システムへの入力）を行った後に速やかに出願書類を書留速達郵便もしくは持参により提出してください。詳細は「4 出願手続」で確認してください。（持参の場合は、9:00～16:00）

出願書類受理期間後に到着したものは受理しません。

注2：出願にあたっては、あらかじめ指導を希望する教員と研究内容や出願について相談してください。また、外国人については指導を希望する教員に、以下の URL からダウンロードした履歴書を2026年4月13日(月)までに提出してください。なお、次の「4 出願手続 ②出願情報の登録」において、指導教員は第3希望まで選択可能（同一のプログラムに限る）としていますが、前述の相談は第1希望の教員と行ってください。

URL : <https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html>

4 出 願 手 続

入学志願者は、次の(1)~(4)を十分確認のうえ、手続を行ってください。

(1)【インターネット出願の流れ】

①入試制度の確認	本学ホームページから「募集要項」をダウンロードし、志願するプログラムの出願資格・出願期間を確認します。
②出願情報の登録	インターネットに接続しているパソコン等から、画面の指示に従って登録内容を入力します。
③出願情報の確認	登録した出願情報を確認します。確認用の紙を印刷できます。
④支払い方法の選択	検定料の支払い方法を選択します。 ・クレジットカード ・コンビニエンスストア ・銀行ATM(ペイジー) ・ネットバンキング
⑤検定料の支払い	選択した支払い方法に従って検定料 30,000 円(別途、払込手数料 990 円)の支払いが必要となります。
⑥出願登録内容の印刷	出願確認票等を印刷します。
⑦出願書類の提出	⑥の出願登録内容の印刷物等を、6 ページの「(3)出願書類」に記載のとおり名古屋工業大学へ提出し、出願完了

注1：インターネット出願情報の登録だけでは、出願手続は完了しません。出願期間内に

6 ページの「(3)出願書類」に記載されている、出願確認票等を提出することで完了します。

注2：出願情報の登録中に次の操作を行った場合、又は、30 分間次のページに進まなかった場合には、始めからやり直す必要がありますので、注意してください。

- ・出願登録完了前にブラウザを閉じた場合
- ・前の画面に戻る際、ブラウザの「戻る」ボタンを使用した場合

注3：検定料の支払い方法、よくある質問など詳細については、下記【インターネット出願登録サイト】を確認してください。

【インターネット出願登録サイト】

本学ホームページ>入試>インターネット出願>インターネット出願登録サイト

注4：入学試験前1年以内に大規模災害に遭った者は、申請により検定料が免除される場合があります。対象は災害救助法適用地域において被災し、住宅家屋が全壊、大規模壊、半壊又は流失した者、若しくは家計支持者が死亡又は行方不明となった者です。

詳細については、本学ホームページ (<https://www.nitech.ac.jp/examination/sokuhou/>) を確認し、必要書類を提出してください。

注5：インターネット出願情報の登録の際のパソコン推奨環境及びモバイル端末推奨環境は次のとおりです。

①パソコン推奨環境

ブラウザ

Windows 環境の場合	Macintosh 環境の場合
Google Chrome Microsoft Edge	Safari Google Chrome (MacOS 10.6 以降)

PDF 閲覧ソフト

Windows 環境の場合	Macintosh 環境の場合
Adobe Acrobat Reader DC	Adobe Acrobat Reader DC

②モバイル端末推奨環境

下記は推奨環境ですが、お使いの環境によっては一部機能が動作しないことがあります。
その場合はパソコンを使用してください。

OS

Android 環境の場合	iOS 環境の場合
Android 10.X.X 以降 Android Chrome	iOS 14.X.X 以降 Safari

(2)インターネット出願情報の登録及び検定料の支払いについて

① インターネットを利用した出願情報の登録及び検定料の支払いが必要となります。
インターネットを利用した出願情報の登録の手順は、「インターネット出願登録の手順案内」
(<https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html>) のとおりです。

② 出願情報の登録を開始する前に準備しておくデータ等

ア 志望理由書等

出願情報の登録システムで作成する書類の他に「(3)出願書類」の「その他必要書類」に記載されている、志望理由書等を出願期間内に提出する必要がありますので、遅れないように準備してください。

イ 本人の顔写真データ

正面、上半身、無帽のもので出願前3か月以内に撮影した写真の画像データを準備しておいてください。システムに他の情報とともに登録します。

ウ 電子メールアドレス

電子メールアドレスが必要となります。スマートフォン・携帯電話の電子メールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。(この電子メールアドレス宛に、出願情報登録完了等の確認メールを配信します。)

エ プリンター、印刷用紙

A4 サイズの用紙が印刷できるプリンタ(モノクロ、カラーどちらでも可)が必要です。
印刷用紙は普通紙で構いません。(出願情報の登録内容を印刷するために使用します。)

③ インターネットが利用できない場合

自宅や在籍する学校・大学等に、インターネット出願登録ができる環境が整っていない場合は、10ページ「16 問い合わせ先」まで相談してください。

注1：インターネット出願登録後、6ページ「(3)出願書類」の提出書類を提出することで、出願手続完了となります。3ページ「3 出願期間」の出願期間内に提出書類の提出がない場合、出願未完了(登録データは無効)となり、受験ができませんので、注意してください。

注2：インターネット出願登録情報は、入学手続時にも使用するため必ず保管してください。

(3)出願書類

5ページ(2)のインターネット出願情報の登録後、次の書類を取りそろえ、所定の期日までに本学入試課に提出してください。

郵送出願する場合は、市販の封筒(角形2号、縦33cm×横24cm)を用い、封筒表面に下表の②宛名ラベルを貼り付け、**書留速達**で郵送してください。

印刷物 出願登録内容の インターネット	① 出願確認票 (提出用)	インターネット出願登録後、印刷したもの。
	②宛名ラベル	インターネット出願登録後、印刷したものを出願書類提出用封筒に貼り付けてください。持参出願する場合は、宛名ラベルを印刷して持参してください。(封筒に貼り付ける必要はありません。)
その他必要書類	③志望理由書	各項目について記述してください。志望理由書は、本学ホームページ (https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html) からダウンロードして作成してください。
	④推薦書	推薦者は大学等の学長、学部長及び学科長等の役職者に限ります。 <u>なお、教授等の職位は役職に該当しません。</u> 推薦書は、本学ホームページ (https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html) からダウンロードして作成してください。
	⑤成績証明書 (コピー不可)	出身大学等の長(学長、短期学長、高等専門学校長又は大学の校長)が作成した成績証明書を提出してください。 また、大学に編入学等した場合、又は短期大学・高等専門学校の専攻科に進学した場合は、前学校(大学、短期大学、高等専門学校本科)の成績証明書も併せて提出してください。
	⑥卒業見込証明書 (コピー不可)	出身大学等の長(学長、短期学長、高等専門学校長又は大学の校長)が作成した卒業見込証明書を提出してください。
	⑦類型該当性の自己申告書	すべての志願者は、「外国為替及び外国貿易法」に基づく「みなし輸出」における管理対象であるかどうかの確認を行うため、類型該当性の自己申告書について、記載及び署名を行い提出する必要があります。様式は、本学ホームページ (https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html) からダウンロードして作成してください。
	⑧その他	ア 外国人は、 <u>在留資格及び在留期間</u> が記載された住民票の写し又は在留カードの両面コピーを提出してください。在留資格を有しない者は、パスポートの写しを提出してください。 イ 出願資格②「学位を取得見込みの者」により出願する者は、(ア)、(ウ)又は(イ)、(ウ)を提出してください。 (ア) 在籍する短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科の修了見込証明書 (イ) 在籍する大学の卒業見込証明書 (ウ) 在籍する短期学長、高等専門学校長又は大学の校長が発行した、学士の学位授与を申請する予定である旨の証明書

注：日本語・英語以外で書かれた書類は、日本語又は英語の訳文を添付してください。

(4)注意事項

- ① 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- ② インターネット出願登録後、出願事項の変更は認めません。ただし、住所・電話番号等の変更が生じた場合は、10 ページ「16 問い合わせ先」まで連絡してください。
- ③ 提出された出願書類は、返還しません。
- ④ 既納の検定料及び成績開示手数料は、次のいずれかに該当する場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - ア 支払ったが、出願書類を郵送しなかった場合
注：インターネット出願登録だけでは、出願手続は完了しません。出願期間内に書類を郵送することで完了します。
 - イ 支払ったが、出願書類の不備により出願が受理されなかった場合
 - ウ 誤って二重に支払った場合
- ⑤ 出願書類に虚偽の記載をしたことが判明した場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- ⑥ 本選抜において不合格になった者は、「一般選抜」に出願することができます。
- ⑦ 「一般選抜」に出願を希望する者は、「2027 年度（令和 9 年度）大学院工学研究科（博士前期課程）学生募集要項」により改めて出願手続をしてください。
- ⑧ 本学入学者選抜に用いた個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」に基づいて、次のとおり取り扱います。
 - ア 入学者選抜に用いた個人情報については、今後の入学者選抜に係る調査・研究のために利用します。なお同調査・研究のため守秘義務を課した業者にその業務の一部を委託することがあります。この場合、当該業者に対して委託した業務の範囲内で必要となる個人情報を提供します。
 - イ 合格者の氏名・住所等の個人情報は、教科書販売、賃貸住宅に関する事前案内送付等のために利用します。なお、この業務については守秘義務を課した業者に委託することがあります。この場合、当該業者に対して業務実施の上で必要となる範囲内で個人情報を提供します。
 - ウ 入学者の個人情報は学籍等の教務関係、修学指導関係及び学生支援関係の業務に利用します。なお、同業務遂行にあたり守秘義務を課した業者にその一部を委託することがあります。この場合、当該業者に対して委託した業務の範囲内で必要となる個人情報を提供します。

5 受験票のダウンロード及び印刷

受験票は、2026 年 5 月 18 日(月)からダウンロード及び印刷が可能となります。

インターネット出願登録サイトから受験票をダウンロード及び印刷し、試験当日持参してください。

6 障害等のある入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、学校教育法施行令第 22 条の 3 に定める障害のあるもの又はその他の障害等があるもののうち、受験上及び修学上の配慮を必要とするものは、出願の前に、下記により相談してください。

(1) 相談の時期及び方法

2026 年 4 月 13 日(月)までに相談する内容を文書又は電話等で連絡してください。必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

(2) 連絡先

10 ページの「16 問い合わせ先」の照会先をお願いします。

7 入学者選抜方法

(1) 選抜方法

口述試験を実施します。

口述試験 2026年7月1日(休) 10:00～

試験内容は、卒業研究の進行状況について5分以内のプレゼンテーションを行っていただきます。プレゼンテーションは、プロジェクターを利用することができます。その後、発表の内容、専門分野の基礎知識に関して質問をします。また併せて、人物、研究意欲、適性等についての面接を行います。

(2) 配点

口述試験は、5段階で評価します。

(3) 合否判定基準

口述試験、推薦書、成績証明書及び志望理由書を総合して判定を行い、A・B・Cの3段階で評価し、合格基準を満たした者をAとします。

なお、希望教員は、面接等で再度確認しますが、第1希望とならないことがあります。

8 試験場

名古屋工業大学

口述試験場所の詳細は、当日、2号館前に掲示します。

なお、口述試験場所への集合時間は9:45です。

9 受験上の諸注意

○感染症対応について

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水痘、新型コロナウイルス感染症等）に罹患し、入院中または自宅や宿泊施設において療養中の場合は、受験できません。

この場合は追試験や別室受験等の特別措置及び検定料の返還は行いません。

日頃から、手洗いなどの手指衛生、換気等により感染防止に努め、体調管理には十分注意してください。

10 合格者発表及び入学手続

(1) 2026年7月10日(金)10:00に、本学ホームページ (<https://www.nitech.ac.jp/>) 上に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者に合格通知書を送付します。

なお、電話による問い合わせには一切応じません。

また、受験票は入学手続時に必要なため、それまで必ず保管してください。

(2) 合格者（又は代理人）は、下記の入学手続期限までに入学手続を行ってください。入学手続期限までに入学手続を行わない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。

なお2026年11月下旬に入学手続の詳細を記載した「入学手続要領」を送付します。入学手続に必要な書類等は「入学手続要領」に同封します。

入学手続期限

2026年12月11日(金) 12:00

11 入学手続時に必要な経費

入 学 料	282,000 円 (予定額)	
授 業 料 (入学後に納入)	年額 642,960 円 (予定額)	前期分 321,480 円 後期分 321,480 円

注1：入学料及び授業料については、入学時及び在学中に改定が行われた場合には、新入学料及び新授業料が適用されます。

注2：授業料は、希望により前期分を納入の際に後期分も併せて納入できる制度があります。

注3：授業料は、2027年4月1日(木)から5月31日(月)までに納入してください。

注4：既納の入学料は、返還しません。

注5：入学料及び授業料については、徴収猶予又は免除の制度があります。

12 プログラム及び指導を希望する教員

志望プログラム及び指導教員を決めるに当たっては、別ファイル「大学院工学研究科（博士前期課程）担当教員一覧」を参照してください。

プログラムの指定がない教員を指導教員に希望する場合、希望指導教員への相談とともに入試課まで相談すること。

13 課程の修了の認定及び学位の授与

本学大学院に2年以上在学し、各プログラム所定の授業科目を30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、大学院の行う修士論文の審査及び最終試験に合格した者に、修士（工学、学術）の学位を授与します。

14 奨 学 金

本学で取り扱っている奨学金は公式ホームページにて紹介しています。

<https://www.nitech.ac.jp/campus/support/shougaku.html>

15 安全保障輸出管理について

名古屋工業大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「名古屋工業大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。

また、2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、本学への出願者全員を対象に、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となりました。さらに、入学手続時に「誓約書」の提出が必要となる場合があります。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】「名古屋工業大学安全保障輸出管理規程」

名古屋工業大学規則集 <https://ki.soku.web.nitech.ac.jp/index.php> より

第4編 研究系>国立大学法人名古屋工業大学安全保障輸出管理規程
経済産業省「安全保障貿易管理」

<https://www.meti.go.jp/policy/ampo/gaiyou.html>

16 問い合わせ先

この学生募集要項に関する照会は、Eメール又は電話等で行ってください。

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町^{ごきそちよう}
名古屋工業大学 入試課
電 話 052 (735) 5083
F A X 052 (735) 5084
Eメール ni t.nyushi@adm.nitech.ac.jp

ディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）

大学院博士前期課程

大学院博士前期課程は、教育理念に従って次の高度な専門知識及び能力を有する、新たな技術創出のための技術者を輩出します。

名古屋工業大学大学院規則で定める修了要件を満たした学生に修士の学位を授与します。

- 1 人間、文化、社会の課題を技術的観点から理解・考察する能力
- 2 広い範囲の工学的知識と数理解
- 3 様々な研究者・技術者と意見を交わすことのできるコミュニケーション力
- 4 課題に対して適切なアプローチを計画し、解決する問題解決力
- 5 工学の高度な知識・技術とこれを現実課題に適用し解決する能力

到達目標

ディプロマ・ポリシーに対応する到達目標は次のとおりです。

○生命・物質化学プログラム、ソフトマテリアルプログラム、環境セラミックスプログラム、材料機能プログラム、応用物理プログラム、電気電子プログラム、機械工学プログラム、ネットワークプログラム、知能情報プログラム、メディア情報プログラム、情報数理プログラム、建築・デザインプログラム、環境都市プログラム、経営システムプログラム

- 1：人間、文化、社会と技術の関わりについて知識を有し、技術課題やその解決法について、倫理的・法的、社会的な影響について自覚し、これらの視点から解決法を検討できる。
- 2：データ解析等の数理的知識・理解と複数の工学分野の高度な知識を有する。
- 3：工学課題を解決するためのチームや関係者と意思疎通できるコミュニケーション力を有し、自身の役割を定めて他の人々と協働することができる。
- 4：工学課題を分析・詳細化し、文献調査や必要な学習を行い、実社会への活用を考慮してアプローチや実験等の計画を立て課題解決をすることができる。
- 5：プログラムごとに固有の到達目標とする。

【生命・物質化学プログラム】

分析化学、物理化学、無機化学、化学工学、有機化学、高分子化学、生化学の知識と意見を持ち、環境、資源、エネルギー、医療等の諸課題の解決に貢献することができる。

【ソフトマテリアルプログラム】

ソフトマテリアルについての合成、物理化学、構造や材料物性、機能発現の知識と意見を持ち、産業や暮らし、医療、エネルギー、環境等に係る材料の諸課題の解決に貢献することができる。

【環境セラミックスプログラム】

セラミックスについて構造や機能、材料設計の知識と意見を持ち、情報通信、エネルギー、医療等に関わる循環型社会実現のためのセラミックス材料開発の諸課題の解決に貢献することができる。

【材料機能プログラム】

金属材料の物理的・化学的性質について知識と意見を持ち、高機能材料の設計・開発と分析評価技術の研究を先導し、環境や産業の諸課題の解決に貢献することができる。

【応用物理プログラム】

ナノからマクロまでの物理の原理について知識と意見を持ち、ナノ計測・分析・加工や素子作製技術、シミュレーション解析に関する研究開発を先導し、エネルギーや環境の諸課題の解決に貢献することができる。

【電気電子プログラム】

電気・電子工学，制御工学，通信理論について知識と意見を持ち，これらの観点からエネルギーシステム，電機・エレクトロニクス産業，福祉・医療，モビリティ等の諸課題の解決に貢献することができる。

【機械工学プログラム】

材料工学，熱・流体工学，機械加工学，制御工学，生体工学，数理工学について知識と意見を持ち，これらの観点から生産・システム設計，福祉・医療，自動車・航空宇宙産業等の諸課題の解決に貢献することができる。

【ネットワークプログラム】

計算機技術，ソフトウェア，通信についての知識と意見を持ち，これらを深化させることで，未来の情報工学を先導し，情報システム，インターネットサービス等の諸課題に貢献することができる。

【知能情報プログラム】

人工知能理論，知的情報処理についての知識と意見を持ち，これらを深化させることで，知的情報技術を先導し，知能システムや知能ロボット，知能科学の諸課題に貢献することができる。

【メディア情報プログラム】

ひとの感覚やメディアの数理的原理についての知識と意見を持ち，これらを深化させることで，未来のメディア情報処理を先導し，ひとを含む高度なシステムやサービスの諸課題に貢献することができる。

【情報数理プログラム】

代数学・幾何学・解析学等についての知識と意見を持ち，これらを深化させることで，高度な情報・数理工学を先導し，数理科学の諸課題に貢献することができる。

【建築・デザインプログラム】

人を取り巻く環境，建築や人々の活動などについて意匠，計画，構造，材料などの知識と意見を持ち，これらに関わるものの設計・デザイン，解析，保存に貢献することができる。

【環境都市プログラム】

社会基盤に関わる現象の解釈，シミュレーション，設計と計画等についての知識と意見を持ち，都市や環境が抱える諸課題に対して自ら合理的な解決策の創造に貢献することができる。

【経営システムプログラム】

数理解析やデータサイエンスの工学知識に加え，心理学，社会学，経営学，人間工学の知識と意見を持ち，幅広い産業分野での問題解決やマネジメントに貢献することができる。

○未来通信プログラム

- 1：人間，文化，社会と技術の関わりについて知識を有し，技術課題やその解決法について，倫理的・法的，社会的な影響について自覚し，これらの視点から解決法を検討できる。
- 2：データ解析等の数理的知識・理解と複数の工学分野の高度な知識を有する。
- 3：工学課題を解決するためのチームや関係者と意思疎通できるコミュニケーション力を有し，自身の役割を定めて他の人々と協働することができる。

- 4：工学課題を分析・詳細化し、文献調査や必要な学習を行い、実社会への活用を考慮してアプローチや実験等の計画を立て課題解決をすることができる。
- 5：有線・無線・光通信工学、情報工学、計測・制御等の工学技術に加え、未来通信の柱となる情報通信システムの完全性や国際標準化や社会実装等についての知識と意見を持ち、未来社会を支える高信頼通信に関わる諸課題に貢献することができる。

○カーボンニュートラルプログラム

- 1：人間、文化、社会と技術の関わりについて知識を有し、技術課題やその解決法について、倫理的・法的、社会的な影響について自覚し、これらの視点から解決法を検討できる。
- 2：データ解析等の数理的知識・理解と複数の工学分野の高度な知識を有する。
- 3：工学課題を解決するためのチームや関係者と意思疎通できるコミュニケーション力を有し、自身の役割を定めて他の人々と協働することができる。
- 4：工学課題を分析・詳細化し、文献調査や必要な学習を行い、実社会への活用を考慮してアプローチや実験等の計画を立て課題解決をすることができる。
- 5：電気・機械工学、固体物理、物質化学等の工学の学術・技術に加え、エネルギー・環境科学、社会基盤開発等についての知識と意見を持ち、カーボンニュートラル実現に向けた諸課題の解決に貢献することができる。

○医学工学プログラム

- 1：人間、文化、社会と技術の関わりについて知識を有し、技術課題やその解決法について、倫理的・法的、社会的な影響について自覚し、これらの視点から解決法を検討できる。
- 2：データ解析等の数理的知識・理解と複数の工学分野の高度な知識を有する。
- 3：工学課題を解決するためのチームや関係者と意思疎通できるコミュニケーション力を有し、自身の役割を定めて他の人々と協働することができる。
- 4：工学課題を分析・詳細化し、文献調査や必要な学習を行い、実社会への活用を考慮してアプローチや実験等の計画を立て課題解決をすることができる。
- 5：機械工学、電気・電子工学、情報工学、社会工学等の工学技術に加え、それらの医学応用等への課題を理解し、医療・福祉技術、リハビリテーション、ヘルスケアの研究開発における諸課題に貢献することができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

大学院博士前期課程

教育理念に従って人材を育成するため、以下の観点から、教育課程を編成しています。

大学院博士前期課程は、学士の能力と工学の基礎知識・使命感の上に、高度な専門知識を身につけると同時に研究に取り組み、未来社会をつくり出す人材を育成します。

- 1 倫理的・社会的観点を含めて人間、文化、社会の諸課題について学び、技術的観点から理解・考察する能力を身につける。
- 2 数理解理解を基礎として、数理情報と工学の広い範囲の知識を学ぶ。
- 3 様々な人々との協働や実践的課題への取り組みを通してコミュニケーション力を修得する。
- 4 技術を社会で活用するための諸課題を理解し、また、研究実践を通じて課題解決へのアプローチについて学修する。
- 5 プログラムの到達目標に応じて工学の高度な知識・技術を修得し、技術課題を発見、解決する能力を身につける。

学修内容

カリキュラム・ポリシーに対応する学修内容は次のとおりです。

○生命・物質化学プログラム, ソフトマテリアルプログラム, 環境セラミックスプログラム, 材料機能プログラム, 応用物理プログラム, 電気電子プログラム, 機械工学プログラム, ネットワークプログラム, 知能情報プログラム, メディア情報プログラム, 情報数理プログラム, 建築・デザインプログラム, 環境都市プログラム, 経営システムプログラム

- 1：人間・文化, 倫理観を身につける科目を学修する。
- 2：工学専攻の全科目から数理情報の科目を含めて計画的に学修する。
- 3：研究課題遂行・成果発表を通じて議論等を行い, また, 国内外の研究者の研究実践から学修する。
- 4：産業や経営に関する知識を学び, 研究実践を通じて社会の中での研究の位置づけや影響について学修する。
- 5：プログラムごとに以下を学修する。

【生命・物質化学プログラム】

生命・物質化学分野の知識・技術を習得し, 物質のデザイン・合成, 機能解析とその応用の諸課題の解決法を計画・実践する。

【ソフトマテリアルプログラム】

ソフトマテリアル分野の知識・技術を習得し, 暮らしや生命科学に関わる材料創成の諸課題の解決法を計画・実践する。

【環境セラミックスプログラム】

環境セラミックス分野の知識・技術を習得し, 情報通信やエネルギー, 医療等に係るセラミックス材料の諸課題の解決法を計画・実践する。【材料機能プログラム】

材料機能分野の知識・技術を習得し, 金属材料の設計, 合成, 機能性付与に応用するための諸課題の解決法を計画・実践する。

【応用物理プログラム】

応用物理分野の知識・技術を習得し, ナノからマクロまでの物理現象の計測・分析, 材料の高性能化やナノ加工, 材料やシステムの予測に関する諸課題の解決法を計画・実践する。

【電気電子プログラム】

電気電子分野の知識・技術を習得し, 機器の設計・制御・通信やデバイス設計, エネルギー変換の諸課題の解決法を計画・実践する。

【機械工学プログラム】

機械工学分野の知識・技術を習得し, 機器開発・設計・製造, エネルギーの輸送・変換・貯蔵・利用の諸課題の解決法を計画・実践する。

【ネットワークプログラム】

ネットワーク分野の知識・技術を習得し, 高度情報化社会を支える通信と計算機技術開発の諸課題の解決法を計画・実践する。

【知能情報プログラム】

知能情報分野の知識・技術を習得し, ひとのように思考・行動する知能処理システム構築の諸課題の解決法を計画・実践する。

【メディア情報プログラム】

メディア情報分野の知識・技術を習得し, ひとの知覚や認知, 感性や感覚に基づくメディア情報システム実現の諸課題の解決法を計画・実践する。

【情報数理プログラム】

情報数理分野の知識・技術を習得し, 情報・構造・数理解析等, 工学における様々な数理

的諸課題の解決法を計画・実践する。

【建築・デザインプログラム】

建築・デザイン分野の知識・技術を習得し、人間をとりまく都市、建築、空間、環境などの計画、設計・デザイン、製作の諸課題の解決法を計画・実践する。

【環境都市プログラム】

環境都市分野の知識・技術を習得し、強靱な国土、安心安全で持続可能な都市社会、魅力あるまちづくりの諸課題の解決法を計画・実践する。

【経営システムプログラム】

経営システム分野の知識・技術を習得し、幅広い分野で問題解決能力と社会の多様なシステムにおけるマネジメントの諸課題の解決法を計画・実践する。

○未来通信プログラム

- 1：人間・文化,倫理観を身につける科目を学修する。
- 2：工学専攻の全科目から数理情報の科目を含めて計画的に学修する。
- 3：研究課題遂行・成果発表を通じて議論等を行い,また,国内外の研究者の研究実践から学修する。
- 4：産業や経営に関する知識を学び,通信の高度・高信頼化がもたらす自動運転,モビリティ,ロボット,スマート工場,遠隔医療等の未来産業や社会について明確な理念をもつ。
- 5：通信・情報工学に係るデバイス・システム・アプリケーション等の工学知識・技術を習得し,高度な通信技術を活用した未来産業や社会に関わる諸課題の解決法を計画・実践する。

○カーボンニュートラルプログラム

- 1：人間・文化,倫理観を身につける科目を学修する。
- 2：工学専攻の全科目から数理情報の科目を含めて計画的に学修する。
- 3：研究課題遂行・成果発表を通じて議論等を行い,また,国内外の研究者の研究実践から学修する。
- 4：産業や経営に関する知識を学び,未来の産業や社会におけるカーボンニュートラル技術の役割や位置づけについて明確な理念をもつ。
- 5：幅広い工学の知識・技術を習得し,健全な地球環境とともに持続的に発展する社会に関わる諸課題の解決法を計画・実践する。

○医学工学プログラム

- 1：人間・文化,倫理観を身につける科目を学修する。
- 2：工学専攻の全科目から数理情報の科目を含めて計画的に学修する。
- 3：研究課題遂行・成果発表を通じて議論等を行い,また,国内外の研究者の研究実践から学修する。
- 4：産業や経営に関する知識を学び,未来社会における医学と工学の役割や位置づけについて明確な理念をもつ。
- 5：幅広い工学と医学への応用に関わる知識・技術を習得し,高度な医療技術を支える工学技術に関わる諸課題の解決法を計画・実践する。

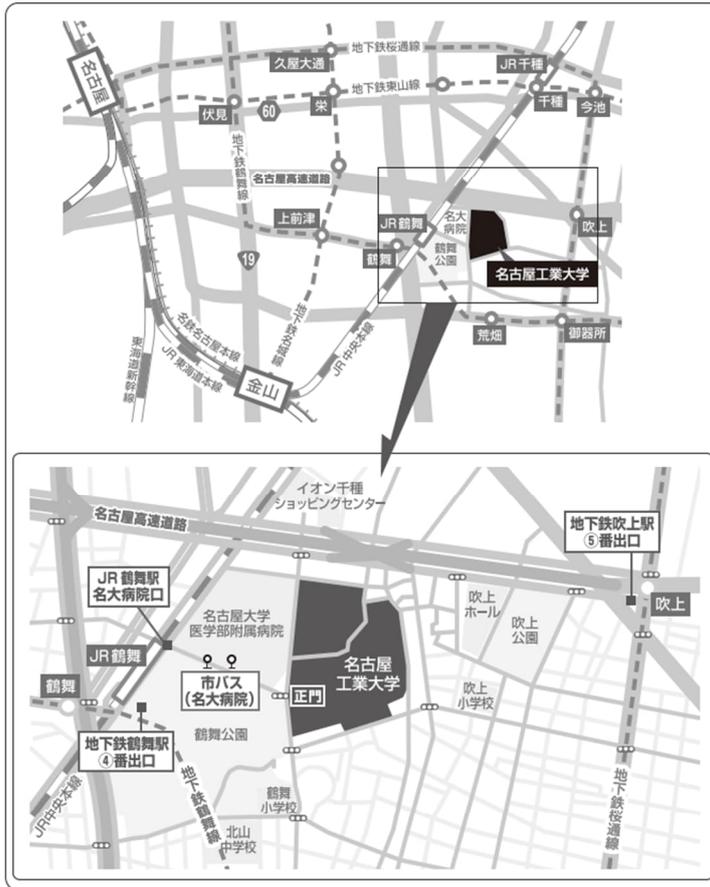
なお、学修成果の評価は、各授業科目における達成目標の達成度に基づき、公正・厳格な成績評価を行い、ディプロマ・ポリシーに示す知識と能力の達成度を評価します。修士論文又は特定の課題の研究成果に対しては、審査基準及び審査方法を明示し、それに基づき研究成果の審査及び試験を行い評価します。

本学への交通案内

J R 東海	中央本線	鶴舞駅下車(名大病院口から東へ約400m)
地下鉄	鶴舞線	鶴舞駅下車(4番出口から東へ約500m)
	桜通線	吹上駅下車(5番出口から西へ約900m)
市バス	⑬18 (栄 ←→ 妙見町)	名大病院下車(東へ約200m)

注1：⑬18 は、市バスの系統番号

2：バスの運行時間は、交通渋滞により大幅に遅れる可能性があるので注意してください。



名古屋工業大学入試課

ごきそちよう
 名古屋市昭和区御器所町(〒466-8555)
 電話 052(735)5083
 ホームページアドレス <https://www.nitech.ac.jp/>